

事業所名

のびっこらんど悠悠

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人理念	当協会は、地域と共生を図り、負託に応え得る法人を目指します。				
支援方針	利用されるお子さんの「育ち」「自分らしさ」を支えるために早期療育を基本とした事業を展開し、発達段階を的確にとらえ、就学・将来を見据えた身辺自立に向け「認知面」「社会性」「情緒面」等の育成に努めます。また医療、教育、行政、地域等の関係機関と連携しお子さんと保護者の方々に寄り添う支援に努めます。				
営業時間	9時	30分	17時	15分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	心身ともに健やかに過ごせるよう健康状態をきめ細やかに観察し、身体機能の発達を促すと共に機能維持に努めます。生活スキルを身に着け、身辺自立が獲得できるように、スケジュール通りに活動する事を学んだり、身の回りの整容を学べるよう片づけ、手洗い、身支度など習慣づけられるよう支援します。			
	運動・感覚	日常生活に必要な基本の動作、姿勢の保持や身体の使い方等、感覚の統合的活用を目指し支援を行います。具体的な支援として、体を大きく動かすサーキット等の粗大運動、制作や教具を使用する微細運動の支援も実施します。			
	認知・行動	認知や感覚の特性を理解し、視覚支援等での手立てを活用しながらお子さんが情報を理解して適切に行動に移すことができるよう支援します。また、行動障害の予防や強度行動障害のある方に対して、ABA等の専門性を活用し支援します。			
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味関心に応じて、本人の伝えたい事を引き出せるよう支援します。他児との関わりの中で挨拶や日常会話のスキルを向上させ、多様なコミュニケーション手段を活用して理解面と表出面を促し意志の伝達を図れるよう支援します。			
	人間関係 社会性	遊びや役割分担など、お友達やスタッフと共に活動することを通して、相互理解を深め信頼関係を構築し、対人関係を豊かにすることで情緒を育み、社会性や仲間意識、集団の中での自意識の発達を支援します。達成感を積み上げていくことで自信をつけ、将来にわたって必要な自己肯定感の獲得を支えます。集団での活動の中ではスタッフが介入しながら対人スキルが向上するようサポートします。			
家族支援	家庭での困りごと、将来の心配事などの相談に応じ、事業所での様子など情報交換をしながら、保護者サロンやペアレントプログラム等の研修、親子体験を通して、かかわり方のアドバイスを行います。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据え、情報提供等を行い、自立に向け支援します。地域とのつながりを支え、本人の意向を基に安心できる環境の中で生活が出来るよう支援します。		
地域支援・地域連携	保育所、学校、医療、行政、他事業所等の関係機関との情報連携や調整を行い、支援方法や環境調整等に関する個別のケース検討会議への出席などを適宜実施していきます。	職員の質の向上	公的な外部研修及び内部研修を実施しスタッフの専門的知識と技術の向上を図っていきます。		
主な行事等	季節の移り変わりを感じられるよう、夏祭りやクリスマス会など各季節に沿った行事を開催します。通常の活動内でも夏場のプール、ハロウィン、お正月遊びなどお子さんが楽しく季節感を味わえる内容を取り入れます。また、外部講師を招き感覚統合や情操を育むリトミック、フラ体操、月に1回災害に備えての避難訓練も実施しています。				